

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：つくしんぼ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：境 ゆず子	定員（利用人数）：60名	
所在地：〒215-0021 川崎市麻生区上麻生3-3-11		
TEL：044-967-0331	ホームページ： https://www.kakinomi.com/tsukushinbo/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人 柿の実学園		
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：9名	
専門職員	（専門職の名称）：名 管理栄養士：1名	
	保育士：18名 栄養士：3名	
	看護師：1名 子育て支援員：2名	
施設・設備 の概要	（居室数） 0歳児室	（設備等） 調理室
	1歳児室	事務室（医務スペース含）
	2歳児室	
	3歳児室	
	4歳児室	
	5歳児室	

③理念・基本方針

<理念>

保育園は、保護者の皆様の就労や家庭の疾病等の事由により、子どもの養育等が出来ない場合に、児童福祉法に基づいて、保護者に代わって子ども達を保育するところです。つくしんぼ保育園は、健全な心身の発達を図ることを目的とし、そして子どもの最善の利益を考慮し、子どもたちが「よりよく育つ」ことを願い保育を進めていきます。集団での生活を中心にたくさんの友だちと一緒に生活する場です。五感を使って「育ちあいの場づくり」を基本理念として運営いたします。

<保育方針>

1. 一人ひとりの気持ちを受けとめる保育
2. あたたかいふれあい保育
3. 子どもとの共有・共感を大切にする保育
4. 楽しさと興味を育む保育

<子どもたちの保育目標>

優しい心 相手の気持ちを思いやることの出来る仲間づくりをする。

強い心 自分で考え、見通しをもち、行動する、生きる力を育てる。
素直な心 美しいものを見て、感動する心と豊かな発想と想像力を養う。

④施設・事業所の特徴的な取組

〈つくしんぼ保育園の特徴的な取り組み〉

- 駅近の園で、周辺に公園が多く季節を感じながら、各年齢に合わせた外遊びが充実しています。
- 法人系列の園には、アスレチックや山の中にある探検村・ピザ窯・陶芸体験・畑があるため、幼児クラスに進級するとそれらの施設でたくさんの楽しい体験がまっています。
- 保護者参加のピザ窯体験も行っています。畑では、種まきや収穫体験を通して、野菜への興味や食べ物の大切さ等、食育につなげています。
- 職員は園内・園外の研修等で保育の質の向上や、地域のニーズにあった支援が出来るよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年07月29日（契約日） ～ 2022年03月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【つくしんぼ保育園の概要】

- つくしんぼ保育園は、昭和37年に神奈川県認可幼稚園として設立された「柿の実幼稚園」が母体となっています。柿の実幼稚園は昭和56年に法人を「学校法人柿の実学園」とし、今年60周年を迎える名門幼稚園です。最近の子育ての情勢から、幼稚園ではカバーしきれない時間帯等の問題を感じ、保育園設立を企画し、別法人として「社会福祉法人共遊の会」を設立し、平成26年4月1日に「はじめの一步保育園」を開園し、平成29年4月1日に認可保育所「つくしんぼ保育園」を設立しました。つくしんぼ保育園は、小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩5分程度、マンション1階部分を専有し、定員60名で0歳～5歳児までの保育に当たっています。
- 現在、「学校法人柿の実学園」の保育園は12園、関連法人で3園と、計15園のネットワークが整い、「柿の実学園グループ」の保育体制が整っています。「柿の実学園グループ」の保育の特徴は、幼稚園も同様ですが『自然に囲まれた施設で、五感を使って、「育ちあいの場づくり」』を基本理念とした、子どもの育成を運営のベースとし、豊かな自然の中での育ちを支援しています。その恩恵の下、つくしんぼ保育園の幼児クラスの子どもたちは、アスレチックや山の中にある探検村・ピザ窯・陶芸体験・畑等のある施設を体験でき、楽しく活動の場を広げています。
- つくしんぼ保育園は、「すくすく ぐんぐん つくしんぼ」をキャッチフレーズに、子どもたちが「よりよく育つ」ことを願い、保育を進めています。集団での生活を中心に、たくさんの友だちと一緒に生活し、基本理念を基に実践しています。大切にしている保育では、1.「身体を使って遊ぼう」、2.「自然を探しに出かけよう」、3.「異年齢保育を楽しもう」、4.「絵本の世界を楽しもう」、5.「リトミック・製作」、6.「自然と友達になろう」、7.「自分の手で野菜を育てよう」等、豊かに、楽しく、生きる力を育むよう取り組んでいます。

◇特に評価の高い点

1. 【自然と食育食農への取り組み】

●つくしんぼ保育園は、自然を探しに近隣の公園等へ、積極的に散歩に出かけています。子どもたちは、散歩途中や、公園等の遊びの中で自然に触れ、自然が織りなす春夏秋冬を五感で感じ、自然の変化や体験を通して表現活動につなげています。また、法人系列園にはアスレチックや山の中にある探検村、陶芸体験、畑等があり、幼児クラスに進級すると法人系列園に出かけ、他園の子どもたちと一緒に楽しい体験を行っています。また、法人系列園の畑で種まきや収穫体験を通して、野菜作りへの関心や食の大切さを知り、収穫した野菜等は給食で食し、食育につなげています。園では、食育食農保育に力を入れ、子どもたちの興味を引き出し、自然と共に伸び伸びと育まれるよう取り組んでいます。

2. 【地域貢献・地域密着への努力】

●つくしんぼ保育園では、中期計画にも示している通り、地域のニーズに合わせた子育て支援、高齢者との連携に力を入れています。園は駅近の立地であり、近隣には一体性を持ったコミュニティが薄く、だからこそ地域との関係を大切に考え、子どもたちに機会を提供するよう取り組んでいます。法人の幼稚園との連携の中でも畑作りを通して近所の方との温かいお付き合いに触れ、高齢者施設、子育てサロン、小学校等との交流も大事にしています。昨今の情勢下において、高齢者施設への訪問は控えていますが、施設へ子どもたちの絵を貸し出し、心の交流を継続し、他の保育園との交流等を通して様々な人と穏やかな交流に努め、都会に過ごす生活の中に長閑な雰囲気味わう機会の提供に努めています。何より、地域貢献を念頭に地域展開を計画しています。

◇改善を求められる点

1. 【人材の確保と育成について】

●人材確保及び人材育成について、課題であるとしています。人材確保については、体制上、非常勤職員の採用を急務とし、複数の方法により採用活動を行っています。また、法人系列の幼稚園や保育園との人事の交流の中から正規職員が増えることも考えられますが、園として能動的な取り組みも一考願いたいと思います。しかしながら、なかなか応募に確かな手応えがないことを踏まえ、より応募を増やすために保育所等の紹介情報サイトでの、パート・アルバイト保育士に向けたサイトの活用や、ホームページでも園の概要、理念、募集要項（パート職員の追加）に加え、1日の働き方、先輩保育士の声、研修体系、キャリアアップの仕組み等を写真、動画、図表等を使って紹介を行うと尚、園の理解につながると思います。さらに、子どもの手が離れ、キャリアを生かそうと考える年配者については、PCやタブレットを持っていない、インターネットを見ないという可能性も視野に入れ、新聞折込求人紙による告知方法に効果が見られると考えます。子育ての経験者であれば応募できる、清掃、消毒、個別対応の子どもの見守り等の様々なパート、アルバイトの募集は、その後、保育士資格の取得を支援する等、正規職員へとつながる可能性も考えられます。それにより、保育士にゆとりが増えれば、内・外部研修等もより参加する時間に余裕が持て、ひいては人材育成につながり、職員の定着にも安定が見いだされます。ご検討を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： つくしんぼ保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

第三者評価を受審した事で、つくしんぼ保育園の強味・弱味・今後やるべき事等がはっきりし、運営・保育の方向性が見えてきたように感じ、受審する事の大切さに気づき、

良かった。

<評価後取り組んだ事として>

1. 保護者対応
2. マニュアルの確認
3. 保育書類の課題の洗い出し

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり